

Open Data on the Web 報告

2013年6月3日

慶應義塾大学SFC研究所
次世代Web応用技術・ラボ
深見嘉明

Open Data on the Web 概要(1)



Advanced Web Application Lab.

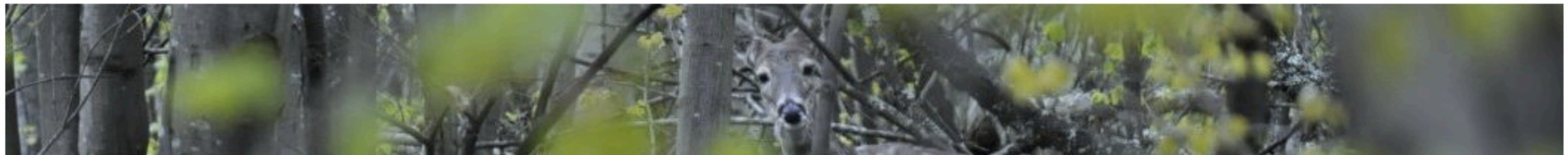
1

- 2013年4月22日～24日（プレイベント含む）にかけて行われたオープンデータに関する世界的会合
- <http://www.w3.org/2013/04/odw/>



Open Data on the Web

23 - 24 April 2013, Campus London, Shoreditch



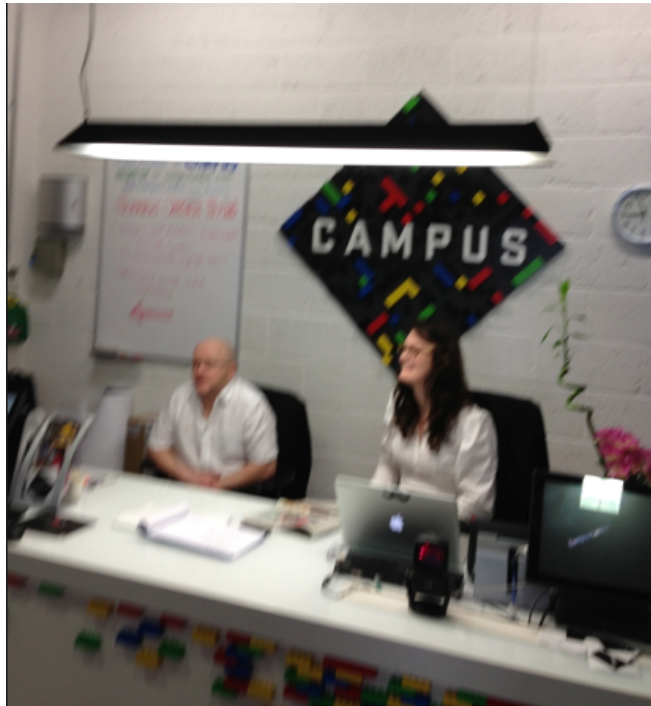
- W3C, Open Data Institute, Open Knowledge Foundationの共催
- W3CのWorkshopという位置づけでの企画ではあるが、W3C標準仕様の検討・推進という立場に依らない、フラットな立場からオープンデータについての議論・情報交換の場

- World Wide Web Consortium (W3C)
 - ウェブ技術の標準化団体。オープンデータについては、Linked Open Data (LOD)、Resource Definition Framework (RDF)等の標準技術仕様の策定・開発を行う。
- Open Data Institute (ODI)
 - 英国の半官半民で運営される研究機関。オープンデータのための技術開発、普及促進活動、ベンチャーインキュベーション等を行う。

- **Open Knowledge Foundation (OKFN)**
 - 英国に本拠地がある世界的なオープンデータ推進団体。オープンデータデータ管理システムであるCKANや、データ規格等の開発を進める他、オープンデータの普及促進活動、ベンチャーインキュベーションなどを行う。
- **Google**
 - 会場として、Google Campus Londonを提供。W3C標準仕様ベースで開発されたデータ仕様、schema.orgの開発を担当するDan BrickleyがWorkshop Chairに顔を連ねる。

主催団体・ホスト(3)

- Googleが提供した会場：
Google Campus London



W3C Workshopとは

- 技術的、産業的に新たなウェブ標準技術の必要性が生じた際に開催される会議。
- 運営形態は学会に準じており、参加には Position Paperの提出が必須。
- Position Paperの発表、質疑応答を通じて、現状の需要、課題、問題点等を洗い出し、新たな標準仕様と取り扱うスコープ、ならびに標準化団体による活動の必要性を検討する。
- 議論の結果を踏まえ、Working Groupの立ち上げ、既存技術の拡張、特定のテーマを設定してのTask ForceやBusiness Groupなどの設立といった、事後の活動が計画される。

今回の会議の目的と方向性

7

- 今回はW3Cの Government Linked Data Working GroupやeGovernment Interest Group Charterの関係者が多数参加しているものの、特にW3C標準仕様を前提とはしていない。
- 政府/公的機関関係者、企業・実務者、コミュニティ、研究機関・研究者による現状確認、情報交換、ネットワーキングが主な目的。

Workshopの内容 (1)

8

- 政府／国際機関による実践事例、開発技術の発表、情報共有
 - 国連開発計画による、世界銀行と共同で展開するデータ解析プロジェクトの紹介
 - 英国国立公文書館による事例紹介
 - オランダ内務省における公共データ公開時のURI発行戦略の紹介
 - ドイツ国立図書館による書誌メタデータのCC0での提供
 - 日本のIPAによる日本の取り組みの紹介

Workshopの内容(2)

9

- 民間企業・コミュニティによるプロジェクトならびに開発技術の紹介、普及に向けた情報交換
 - FUJITSU LABORATORIES OF EUROPE LTDによる、LODプラットフォームを活用したヘルスデータ活用事例の紹介
 - GS1による商品分類データのLOD化
 - Product Open Code (データのオープンソースコミュニティ) によるバーコード商品DBのオープンデータ化

Workshopの内容(3)

10

- 技術提案、議論
 - Open Knowledge Foundationによるテーブルデータのためのフォーマット仕様”Simple Data Format”
 - SPARQL等LODを取り扱うための技術に関する議論
 - 地理空間情報の相互可用性実現のための議論
 - AdobeによるPDFの機械可読性対応に対する説明

- 議論の他に、OKFN・ODIがホストするカジュアルなミーティングが設定される。
- 各国政府関係者、研究者、企業、コミュニティによる情報交換とネットワーキングが行われる。



- Workshop Website
 - <http://www.w3.org/2013/04/odw/>
- Workshop Minutes (速記録)
 - Day1: <http://www.w3.org/2013/04/23-odw-minutes.html>
 - Day2: <http://www.w3.org/2013/04/24-odw-minutes.html>
- Together: #odw13
 - Day1: <http://togetter.com/li/492629>
 - Day2: <http://togetter.com/li/492632>

ご清聴ありがとうございました。

深見嘉明

yofukami@sfc.keio.ac.jp